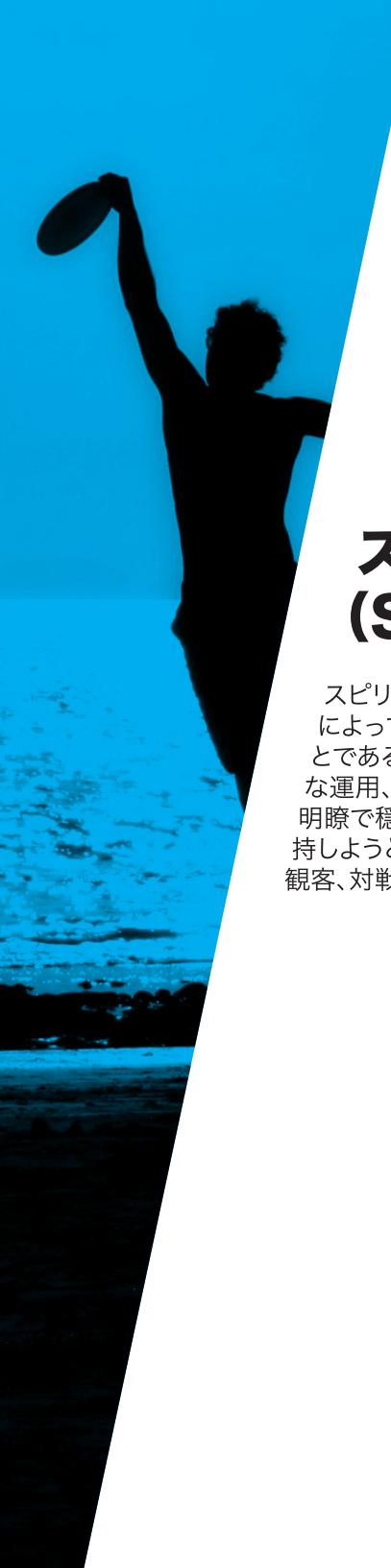


スピリット・オブ・ザ・ゲーム



Presented by:





スピリット・オブ・ザ・ゲーム (SOTG)とは

スピリット・オブ・ザ・ゲーム(SOTG)とは、世界中のプレイヤーによって試合中やその前後に実践される思慮ある振る舞いのことである。この中には、ルールに関する深い知識や試合中の適切な運用、フェアプレイ精神、危険性の低いプレイ、空間認識能力、明瞭で穏やかなコミュニケーション、そしてプレイする楽しさを維持しようとするプレイヤー間の相互努力から生じるチームメイトや観客、対戦相手に対する前向きで敬意ある態度が含まれる。

SOTGは関係性を育み、敬意を生み出す

スピリット・オブ・ザ・ゲーム(SOTG)の本質は、アルティメット創始者達による初めての試合中に生み出された。友人同士を対戦相手とする状況では、誰もアンフェアな振る舞いをすることなく、試合が進んでいた。

年月が過ぎ、友人同士の範囲を超えてアルティメットが普及すると、競技性の高い試合においてしばしば発生する「勝利至上主義」よりも、プレイする楽しさに重点を置く考え方を維持するため、SOTGがルールとして明文化された。

SOTGを育むためには、対戦相手に対して親友と同じように接し、信頼することが必要である。対戦相手のことを知り、一緒に試合をしてくれている事実に敬意を払い、相手のベストなプレイを認めることで、試合 자체や対戦相手との関係性をより良いものにすることができる。

セルフジャッジは、SOTGによって成り立っている

スピリット・オブ・ザ・ゲーム(SOTG)の考え方には、フィールド上にいる全てのプレイヤーがルールを熟知した上で、自身に対するコールを受け入れるだけでなく、正直で公平なコールをすることを求めている。プレイヤーは自身の振る舞いに責任を持つ必要があるが、セルフジャッジによってこの事実がより明白になっている。

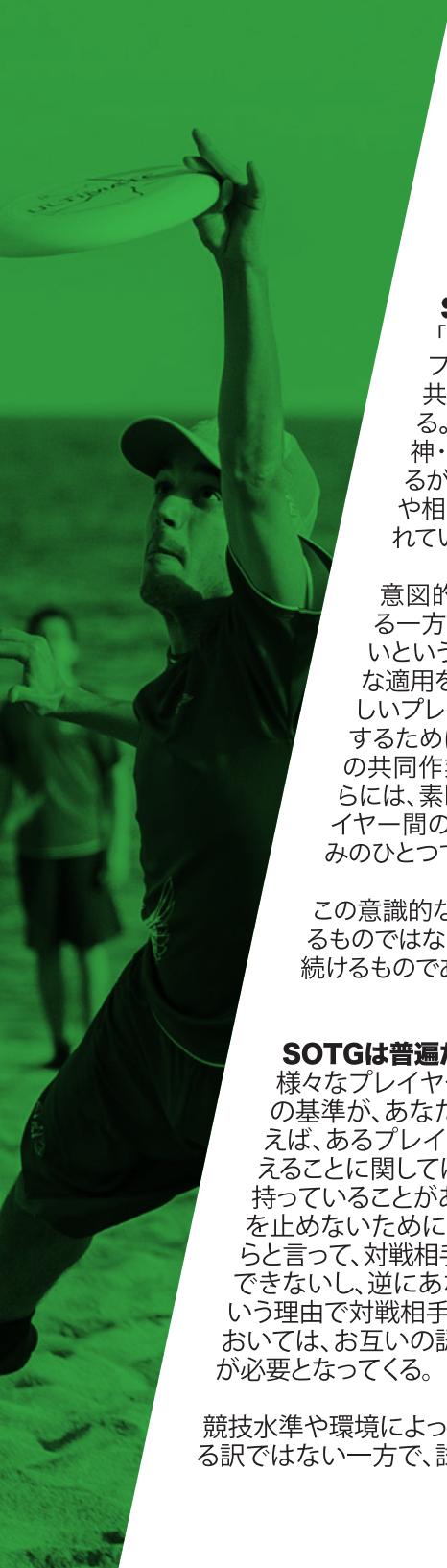
セルフジャッジを適切に運用した場合、プレイに関わっている全ての人が平等な責任と権限を持つため、全ての競技水準において、最も公平な試合が成立する。同様の理由から、セルフジャッジは、SOTGが実践される文化を創り、育むことができる

SOTGは、相手への信頼から始まる

全てのスポーツにおいて意図的ではない違反は発生する可能性は存在するが、その違反が公平に解決されると、競技に付随する楽しさが増大する。しかし、不公平な状態で解決されると、苛立ちや対立を引き起こす結果となる。

試合中に発生する協議の適切な進行は、まず対戦相手を信頼することから始まる。信頼関係から始まった話し合いは円滑に進み、その後に発生するコールについての解決方法の指針となる。また同時に、対戦相手が正当性やその後のプレイへの重大な影響があると信じた上でコールをしているという前提を置くことで、協議の結果に対する納得感を高めることができる。そして、いかなる状況においても、疑問点について好意的に解釈をすることが、より適切な協議の進行を生み出すのである。

また、対戦相手がコールに対して異議を持つ可能性や、異議を唱えている理由が考える時間やわかりやすい説明を必要とするためであるという可能性を理解するこ



とも必要である。協議において対戦相手との信頼関係を構築するためには、コールをした理由や異議を唱えた理由を説明する具体的な証拠を示すことも求められる。

SOTGは、全ての選手に期待されている

「スピリット・オブ・ザ・ゲーム(SOTG)」の考え方と、「フェアプレイ精神・スポーツマンシップ」の考え方には共通点が多く、類似しているものとして扱うことができる。しかし、両者には大きな違いがあり、「フェアプレイ精神・スポーツマンシップ」は望ましいとされる考え方であるが、「スピリット・オブ・ザ・ゲーム(SOTG)」は競技水準や相手の振る舞いに関わらず、全てのプレイヤーに期待されている考え方である。

意図的な違反が試合の一部として扱われるスポーツがある一方で、SOTGは意図的な違反やルールの過大解釈はないという期待を前提としており、ルールの単なる理解や正直な適用を超えるものである。そして、この前提によって、素晴らしいプレイが生まれる機会を減少させてしまう可能性を解消するためには、プレイヤー間のコミュニケーションやチーム間の共同作業が必要とされるという事実がより際立ってくる。さらには、素晴らしいプレイを賞賛するための方法を提供し、プレイヤー間の前向きな交流を創り出すことも、SOTGが持つ仕組みのひとつである。

この意識的な思慮ある振る舞いは、対立が発生する時にのみ生じるものではなく、むしろ試合中から試合後のパーティーまで努力し続けるものである。

SOTGは普遍だが、求められる振る舞いは異なることがある

様々なプレイヤーやチームと試合をする中で、状況の認識やコールの基準が、あなたの基準と異なる場合があることに気付くだろう。例えば、あるプレイヤーはトラベルに関しては厳格だが身体接触が増えることに関しては寛容である一方で、他のプレイヤーは逆の傾向を持っていることがある。また、あなたのチームが自分たちのオフェンスを止めないためにコールをしない傾向がある場合、この傾向があるからと言って、対戦相手からの正当性のあるコールが減少することは期待できないし、逆にあなたのチームがコールをしないことを知っているという理由で対戦相手が反則をしてよい訳でもない。このような状況においては、お互いの認識を合わせるために、さらなるコミュニケーションが必要となってくる。

競技水準や環境によってスピリット・オブ・ザ・ゲーム(SOTG)自体が変化する訳ではない一方で、試合をしている文脈によって異なる振る舞いが求め

られることがある。

プレイへの許容度や観点が異なることは、直ちに対戦相手が**SOTG**を実践していないという事実にはつながらない。例えば、身体接触について、対戦相手の方があなたのチームよりも許容度が低い場合は、対戦相手に合わせた振る舞いをするべきである。アルティメットにおいて、身体接触につながる動きについての基準は「0回」であるため、お互いがプレイする楽しさを継続するためには、身体接触の許容度がより高いチームが、許容度のより低いチームに合わせることが義務となる。後ろ向きな憶測を避けるためには、どのプレイにおいてお互いの許容度が異なっているのかについて、率先して話し合いすることが大切となる。ルールを遵守しているかどうか、敬意を持っているかどうか、そしてプレイ内容やコールの基準、対戦相手からのコールへの反応に一貫性があるかどうかで、相手の**SOTG**を評価することができる。

プレイする楽しさに焦点を当てているチームもあれば、対戦相手の競技水準に関わらず自分たちのベストを尽くすことに注力しているチームもある。双方の方向性はどちらも**SOTG**において重要視される側面であるため、点数が大きく離れてしまった試合であっても、高い水準の**SOTG**が実践された上で、両チームが満足する試合を実現することは可能である。特に、対戦相手が自分達と異なる許容度や観点を持っていると感じた状況においてこそ、コミュニケーションを図り、お互いの共通認識を試合中に作っていくことが必要となる。

SOTGには、一貫性が求められる

スピリット・オブ・ザ・ゲーム (**SOTG**) の可能性を最大化する要素のひとつとして、判断の一貫性がある。プレイヤーは、試合を通して一貫性を持ったコールを求められており、その基準は試合開始後の早いタイミングに決定しなければならない。すなわち、試合開始後の早いタイミングにおいて、あるプレイに対するコールの必要性を感じなかった場合は、試合の後半において同様のプレイが発生した場合でもそのコールを避けなければならない。これは、試合が拮抗している状況になっていても同様である。

さらには、あるチーム内のプレイヤー間でも、判断の一貫性を持たせることが重要となる。例えば、伝統あるチームには、所属する全てのプレイヤーが遵守する基準が存在することもあるだろう。チーム内における判断の一貫性は、チームメイトや対戦相手がお互いに期待している事項が明確になるという点において、両チームにとって必要なものとなる。そしてこの一貫性は、目の前の試合だけでなく、お互いの成長とともに積み重ねていく共通の歴史として育まれていく。



SOTGは、精神的な強さを育む

伝統あるチームは、スピリット・オブ・ザ・ゲーム (**SOTG**) の実践によってプレイヤーが成長することで、風が強い状況での試合や試合中の協議のように大きな精神的負荷がかかる環境においても、ベストなプレイをするための心構えを持つようになるという事実を理解している。そして、対戦相手との適切なコミュニケーションを取り、試合中には自身がコントロールできる要素にのみ集中し、対戦相手から異議があった場合でも敬意と信頼を持って接することで、あなた自身がより良いパフォーマンスを発揮できるようになる。

あるチームのトッププレイヤーは、所属するチーム内において最も適切に **SOTG** を実践している場合が多い。精神的に強く試合に臨む心構えができるため、そのプレイヤーは後ろ向きな事項に割く労力を減らし、結果としてフィールド上においてより良い選択肢を選ぶことができている。そして、その選択の数々は、対戦相手に自信を与えるよりも、自身のチームを盛り上げる結果につながる。

SOTG を実践することによって、チームメイトや対戦相手との関係性が向上するだけではなく、より優れたアスリートに成長することができる。

「B.E. C.A.L.M.」を覚えよう

コールが多くなり、スピリット・オブ・ザ・ゲーム (**SOTG**) の実践が難しくなる状況は、どの試合においても発生する可能性がある。「**B.E. C.A.L.M.**」は、前向きかつ効果的なコミュニケーションの方法を、試合中に思い出させてくれるテクニックである。

[B]reathe, don't react straight away, / 深呼吸をして冷静になる

[E]xplain what you think happened, / 何が発生したと自分が考えているかを説明をする

[C]onsider what they think happened, / 何が発生したと相手が考えているかを想像する

[A]sk others for advice on perspective and rules, / 状況やルールについて質問をする

[L]isten to everyone, and / 他者の意見を聞く

[M]ake a call. / コールをする

上記のステップを適切なタイミングで実践することで、コールの結果に関わらず、選手間に前向きな印象を生み出し、両者とも公平なプレイの解決を重要視しているという信頼を育むことができる。BE CALMを実践してみよう。

SOTGは、計測することができる

スピリット・オブ・ザ・ゲーム（SOTG）は、下記に記載された5つの項目から構成されており、WFDF主催大会中に自己評価及び他者評価の両方に活用できるものである。

- 1) ルールの理解及び適切な使用
- 2) フアール及び身体接触
- 3) フエアプレイ
- 4) ポジティブな姿勢及びセルフマネジメント
- 5) コミュニケーション

各項目を意識することで、より適切にSOTGを実践するプレイヤーやチームを育むことができる。

終わりに

スピリット・オブ・ザ・ゲーム（SOTG）は、アルティメットの発展や社会への訴求点の大部分を占めており、初心者にとっての魅力的なスポーツでありながら、経験者が関わり続けたいと感じるスポーツでもある根源となっている。さらに、この考え方は、多様性や平等性の文化を育む基盤でもある。2015年、世界フライングディスク連盟（WFDF）とアルティメットは、国際オリンピック委員会（IOC）の承認を得た。その判断に際しては、アルティメットに備わる「スピリット・オブ・ザ・ゲーム（SOTG）」という比類のない考え方とセルフジャッジの歴史が2大要素として取り上げられた。

SOTGをより良く実践するためには、様々な観点における労力を必要とする。しかしながら、SOTGを深く理解すればするほど、あなた自身が成長すると同時に、プレイする楽しさも増大していく。

SOTGは誰でも実践可能で、様々な分野で活用できる考え方である。時としてそれは、フィールド上のプレイに留まらず、フィールドを離れた生活においても意味を持ち、全ての人があり良い人生を送るための知恵となる可能性を秘めている。

発行に際し、下記の皆さんに感謝の意を表します。

Paolo Chiappin, Patrick van der Valk, Travis Smith,
Brian Gisel, Will Deaver, Daniel Raabe, Dario Lucisano,
WFDF SOTG 委員会メンバーの皆様





www.wfdf.org/sotg/about-sotg